

メディアリリース

アジアにおける二酸化炭素回収貯留・利用技術（CCS/CCUS）の重要な役割についてフォーラムを開催

<2020年9月9日>日本、東京 - 海外の専門家がバーチャルなフォーラム会合において、二酸化炭素回収貯留・利用（Carbon Capture and Storage /Carbon Capture and Utilisation Storage：「CCS / CCUS」）の重要なニーズを明確にし、その汎用性を検証、日本やアジア地域における、CCS/CCUSの今後の進捗や展開について議論します。

CCSのグローバル展開を加速することを使命とする国際的シンクタンクであるグローバル CCS インスティテュートは日本 CCS 調査株式会社と共同で10月6日に「Japan-Asia CCUS Forum 2020」を開催いたします。本会合では、CCS / CCUS が日本やアジアにおけるクリーンエネルギーへの移行に重要であることについてフォーカスしていきます。

グローバル CCS インスティテュートの CEO であるブラッド・ページは次のように述べています。

「野心的な地球規模の気候変動目標を達成するには、二酸化炭素の大気侵入を防ぎ、マイナスの排出を達成する為の緊急の行動が必要です。二酸化炭素回収貯留・利用技術（CCS / CCUS）は、今世紀半ばまでに排出量を正味ゼロまで削減し、地球規模の気候目標を達成するために不可欠です。」

「複数の信頼できる独立機関では、限られた時間内に地球規模の気候変動目標を達成するためには、CCS / CCUS が不可欠であり、鉄鋼、セメント、肥料製造などの脱炭素化が困難な業界にとって唯一の有望な解決策であると結論付けています。」

「電力、産業、運輸部門全体で大幅な排出削減を実現するとともに、新しい低排出経済の創出に大きな機会を提供する CCS の汎用性は、大きな強みです。」

「さらに、日本で特に興味深いのは、CCS / CCUS が低炭素水素の製造を可能にすることです。これは、雇用を創出し、地域社会を維持する新しいエネルギー経済の発展を支援する大きな機会をもたらします」

参加者の皆様は、本フォーラムの後援者である経済産業省および（国研）新エネルギー・産業技術開発機構の指揮の下、成功裏に実施された「苫小牧 CCS 実証プロジェクト」や（公財）地球環境産業技術研究機構で行われている主要な CCS / CCUS 研究開発イニシアチブにおける研究成果について学んでいただけます。

また本フォーラムでは、日本とアジアでの CCS / CCUS の今後の展開の見通しや地域全体での技術のキャパシティビルディングも焦点になります。様々な国際講演者が、知識の共有と国際協力の為に CCS / CCUS に関する見識を共有いたします。

Japan-Asia CCUS Forum 2020 は、経済産業省様および（公財）地球環境産業技術研究機構様からご後援を賜り、（国研）新エネルギー・産業技術開発機構様のご共催を頂いております。

本フォーラムの詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください（フォーラムイベントサイト [日本語](#) [英語](#)）

本件連絡先:

(メルボルン) Lucy Temple-Smith : +61 466 982 068 lucy.temple-smith@globalccsinstitute.com

(日本) グローバルCCSインスティテュート日本事務所 Kazuko.miyashita@globalccsinstitute.com

グローバル CCS インスティテュートについて: グローバル CCS インスティテュートは、気候変動の取組みと、エネルギーの安全保障を実現する上で、重要な技術である、二酸化炭素回収貯留 (Carbon Capture and Storage “CCS”) の、グローバルな展開を加速することを使命とする、国際的なシンクタンクである。インスティテュート会員と共にまた会員の代理として、この重要な技術が温室効果ガスの排出削減に役割を果たせるよう、専門性を生かし、キャパシティ・ビルディングや、助言やサポートを提供することで、CCS の導入をできるだけ早く経済的に推進している。インスティテュートや CCS 技術についての詳細についてはインスティテュートのウェブサイトへ ([日本語](#)、[英語](#))。

日本CCS調査株式会社について :

日本 CCS 調査株式会社は、日本政府の委託によって苫小牧市においてフルチェーン CCS システムを実証する為に、2008 年 5 月、地球温暖化対策としての CCS を推進するという国の方針に呼応する形で、電力、石油精製、石油開発、プラントエンジニアリング等、CCS 各分野の専門技術を有する大手民間会社が結集して設立された、世界でも稀な民間 CCS 技術統合株式会社です。

日本 CCS 調査株式会社のより詳細な情報については、ウェブサイト (japanccs.com) へ。